

(家族に国立学校在学者がいる場合に提出)

授業料免除実施状況証明書

筑波大学に在学中の私の兄弟・配偶者等②が、2023年度授業料免除等の申請に必要としていますので、私(2022年度における貴学在学者)①の下記事項について証明をお願いします。

①2022年度における貴学在学者〔証明を受ける者〕

学部・研究科等	
学籍番号・年次	年次
(高専の場合のみ記入)	<input type="checkbox"/> 本科 <input type="checkbox"/> 専攻科
氏名	
通学区分	<input type="checkbox"/> 自宅通学 <input type="checkbox"/> 自宅外通学

②筑波大学在学者〔免除申請者〕

学籍番号	
氏名	

※左欄①の証明を受ける者が筑波大学在学者である場合は、上記②免除申請者が下記証明欄1.及び2.を記入し提出してください(証明者欄の記入は必要ありません)。

記

【 以下学校担当者のご記入をお願いします。 】

1. 学校種別

<input type="checkbox"/> 大学院・大学・短大 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 高等学校
<input type="checkbox"/> 専修学校(専門課程) <input type="checkbox"/> 専修学校(高等課程) <input type="checkbox"/> その他()

2. 2022年度授業料免除実施状況 [授業料年額(基本年額) 円]

前期分	<input type="checkbox"/> 全額免除(国費留学生、休学による免除を含む) <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 一部免除() <input type="checkbox"/> 免除されていない	免除実施額 円
後期分	<input type="checkbox"/> 全額免除(国費留学生、休学による免除を含む) <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 一部免除() <input type="checkbox"/> 免除されていない	免除実施額 円

(注) 該当する項目にチェックし、必要事項をご記入ください。

2022年度の授業料免除実施状況について証明して下さるようお願いいたします。

上記のとおり証明します。※証明を受ける者①が筑波大学在学者である場合は、以下記載不要。

西暦 年 月 日

学 校 名

所 属

担当者氏名

印

(□春学期分・□秋学期分)授業料免除申請に係る面接票

修業年限を超過している者は下記のとおり面接を受けてください。

申請者	フリガナ 氏名	課程	学群	学類	年 月 □入 学 □編入学等
	学籍番号		研究科	専攻	
			研究群	学位プログラム	

【申請者記入】

〔申請理由区分〕

1 修業年限超過

休学により、卒業(修了)が延期(修業年限超過後の休学等は、該当しません)

留学により、卒業(修了)が延期 …… 留学の証明書 を提出

(休学・留学期間)

西暦 年 月 日～ 年 月 日 () 休学・留学

西暦 年 月 日～ 年 月 日 () 休学・留学

西暦 年 月 日～ 年 月 日 () 休学・留学

その他の理由により修業年限超過

休学期間に満たない期間の病気のために単位修得ができなかった …… 診断書 を提出

本人が障害者 …… 障害者手帳 を提出

その他の特別な事由がある …… 特別な事由を示す書類 を提出

2 「5事情(その他)」で申請(修業年限超過に関する事情は、該当しません)

その他の特別な事情がある …… 特別な事由を示す書類 を提出

〔申請理由詳細:記入必須〕上記1については超過理由の詳細を記入して下さい。

※免除を希望する理由を書くではありませんので注意してください。この欄に書ききれない場合には、様式6-2を使用してください。

【面接者記入】

上記学生の申請書及び証明書等に基づき、申請理由、その他記載事項について説明を受けました。

(1) 卒業の見込み

2023年度内に卒業見込み

2024年度以降(年度)に卒業見込み

(2) 所見(下記に必ずご記入ください。)

2023年 月 日

(面接者) 所 属 _____ 氏 名 _____

※面接者は、面接票を封筒(学生が用意)に入れ、封印願います。所見が書ききれない場合には適宜別紙にご記入ください。

申請者	フリガナ 氏 名	
	学籍番号	

【申請者記入】

〔申請理由詳細:記入必須〕上記1については超過理由の詳細を記入して下さい。

※免除を希望する理由を書くものではありませんので注意してください。様式 6-1 に書ききれない場合に、こちらの用紙を使用してください。

※「新型コロナウイルス流行」を理由とする場合、やむを得ない事情であることを明確にするため、超過との因果関係が客観的に把握できるように記載してください。(影響の内容を時期、期間を交えて具体的に記載してください。)

なお、追加の資料を求めることがありますので、ご承知おきください。